

## 実際にデータを分析してみる --- 選挙データを使った分析 ---

- 実際のデータを使った分析を通して、これまで学んだ Excel の使い方をおさらいする
- 自分で Excel のヘルプを見て関数の使い方を調べてみる

## データの説明

election.xls は平成 13 年および平成 9 年の東京都議選の開票結果等が入ったブックである。

各シートの中身は以下の通り

投票率	平成 13 年選挙での選挙区ごと有権者数、投票数など
開票結果	平成 13 年選挙での候補者ごと得票数など
議員定数	平成 13 年選挙での選挙区ごと議員定数
前回結果	平成 9 年選挙での候補者ごと得票数など
前回投票率	平成 9 年選挙での選挙区ごと有権者数、投票数など

問題 0 平成 9 年の結果から、政党ごとの当選数と死票数を求めなさい

問題 1 開票結果と議員定数のデータから、平成 13 年選挙での当落を求めなさい。選挙区ごとの議員定数を参照するためには `vlookup()` 関数を使うと便利である

問題 2 問題 1 で求めた当落から、政党ごとの当選者数を求めなさい

問題 3 問題 1 で求めた当落を使って、政党ごとの死票数を求めなさい

問題 4 もし東京都議選が全都 1 区のドント式比例代表制で実施されたとしたら、各政党に割り当てられる当選者数はどうなるか求め、問題 2 の結果と比較しなさい。

問題 5 平成 9 年の結果とあわせて、再選者を求めなさい

問題 6 問題 5 で求めた再選者について、平成 9 年選挙と平成 13 年選挙での得票数 ÷ 選挙区投票数をそれぞれ計算し、選挙区投票率の 2 時点での変動が再選者の得票率に与えた影響について考察しなさい

問題 7 平成 9 年選挙と平成 13 年選挙のデータを用いて、選挙区ごとに政党得票数 ÷ 投票数をそれぞれ計算し、選挙区投票率の 2 時点での変動が政党の得票率に与えた影響について考察しなさい。ただし、前回の「新進党」は「自由党」と読み替える

問題 8 平成 9 年選挙のデータには候補者の年齢や職業、住所が入っている。政党ごとに候補者の分布に差はありそうか。また、居住地以外の選挙区で立候補している人に何らかの傾向はありそうか。

問題 9 選挙区ごとの 1 票の重みにはどのように差があるか。また総定数を変えないで 1 票の格差 2 を 2 未満にするためにはどのような選挙区調整を行えばいいか。いくつも方法はあると思われるが、調整する選挙区数が最小になる方法を答えなさい

最終レポート：上の 10 題のうち 1, 2, 3, 4, 8 は必須、2 題は自由を選んで計 7 題（各 10 点 計 70 点）